

平成 29年度（28年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	教育局総務課
	施策	学校教育環境の整備		電話番号	087-839-2611
	基本事業	学校教育施設の整備		事業実施主体	市
	事務事業	小・中学校校舎等増・改築事業		事業期間	平成 28年度～平成 35年度

【事業全体概要】

事業の概要	教育環境の向上を図るため、教室不足が生じている小・中学校の校舎の増築及び建築後50年以上経過し、老朽化が著しい学校施設の全面改築を行う。				
29年度概要	屋島中学校屋内運動場プール改築工事 栗林小学校改築工事 栗林小学校校舎増築工事等 多肥小学校校舎増築実施設計委託等				
重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	事務事業の類型	インフラ・施設等整備	

【事業の目的】

対象(何を)	小学校、中学校
意図(どのような状態にしたいか)	小・中学校の教室不足を解消するとともに、老朽化が著しい学校施設を改築すること等により、教育環境の改善を図る。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
増改築を実施している校数(設計含む)	校			4	4	4

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
成果指標	増改築完了率	%	目標値			0	0	75
			実績値			0	0	
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 校区内の急激な都市化により、教室不足が生じている小・中学校の校舎等の増・改築等整備を行った。(目標達成度)							(達成度)
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 26年度(決算)	平成 27年度(決算)	平成 28年度(決算)	平成 29年度(予算)
トータルコスト	[円]	2,123,065	1,012,045	1,754,759	4,888,131
(事業費)	[円]	2,117,160	1,005,903	1,748,478	4,881,850
(職員人件費)	[円]	5,905	6,142	6,281	6,281

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

教室不足に対応するため、引き続き校舎増築工事は必要不可欠であり、今後、老朽化が著しい学校については、策定予定の学校施設整備計画(仮称)に基づき、長寿命化の視点を踏まえた、計画的かつ効率的な整備を検討する必要がある。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

児童急増に対応するため、校舎増築工事は必要不可欠であるが、厳しい財政状況を考慮した上で、設計等を行うことで、コスト削減に努める。また、老朽化が著しい学校については、学校施設整備計画(仮称)を策定し、計画的で効率的な整備を進めていく。